

旧来の課題の達成状況

国土政策として成果の上がったもの

- ・ 製造業立地の地方分散・人口移動の安定化
- ・ 地域間所得格差の縮小・公害防止と生活環境の向上

依然として残る課題

- ・ 過疎問題
- ・ 整備途上にある国土基盤
- ・ 木造密集市街地の整備などの大都市の防災性向上
- ・ 人と自然の望ましい関係の構築

国土づくりの転換を迫る潮流と新たな課題

高齢化	人口減少・	都市遠隔地における無居住・人口低密度地域の拡大 地方都市の拠点性の低下
地域間競争	国境を越えた	弱まる産業の国際競争力 工場のアジア移転と公共投資削減による地方経済の衰退 知識社会での東京圏再集中
の顕在化	環境問題	進む地球温暖化 限界に達した廃棄物の処理 荒れる森林と耕作地の放棄 美しい国土への渴望 / 郊外化の進行
投資制約		生活の質確保と地域活性化を支える投資の制約 / 維持管理投資の増大 新規投資余力の減少 多数の同質な公共施設整備
の限界	中央依存	地域の特色の喪失 模索状況にある国と地方の新たな協調関係

序章部分

国土政策各分野における現状と課題、基本方向

生活関連サービスの確保
災害への備え
連携困難地域での国土保全等の政策目的明確化

国際的な競争力・魅力の向上
外国人の受入れ環境

環境負荷の少ない国土
美しい国土

既存ストック活用
社会コストの低い地域構造

地域の自立
誇り・愛着の共有化、多様な主体の協働

小委執筆章

国土政策の基本的方向
「目指すべき国のかたち」

多様な地域特性に応じた 高い効率、豊かな生活、美しく快適な環境を実現し世界で最も優れた国土へ

世界に開かれた「自立広域圏連帯型国土」(仮称)の形成

- ・ 一極一軸構造からの転換(「国土の均衡ある発展」に代わる新たな理念再構築)
- ・ 東京を頂点に国内で競争する構造からそれぞれの地域ブロックが自立し世界で競争する構造へ
- ・ 東京集中問題の新たな認識
- ・ 自立型「地域ブロック」の形成と交流・連携
- ・ 地域ブロックを牽引する魅力ある拠点都市圏、創造的な産業集積づくり
(「選択と集中」による資源投入)
- ・ 国際交流基盤の強化と国内外の交通・通信シームレス化

「地域ブロック」を支える「生活圏域」の形成

- ・ 圏域内での機能分担と相互補完による都市的サービスの維持
- ・ 連携困難地域における高次情報インフラ整備による生活機能の代替
- ・ 豊かな暮らしを実現する、自助と互助による「ほどよいまち」づくり
- ・ 「地域力」の向上による安全、安心、活力の確保

「持続可能な美しい国土」の形成

- ・ 都市的土地利用の秩序ある集約化と自然環境の再生・活用
- ・ 国土資源の国民的経営
- ・ 物質循環の地域的コントロール
- ・ 国土利用の質的向上(安全性、持続可能性、美しさ)

第4章(最終章)部分

国土計画への要請

「安心」「活力」「共生」の調和、持続を可能とする国土の将来像の提示

実効性の向上、国と地方との役割分担の明示

国土基盤整備の選択と集中

国土利用の再編

総合的管理